

試験結果報告書

No. 204E- 170

平成 16 年 4 月 23 日

株式会社アクアヴェール 殿



遠赤外線赤外線研究会

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験試料 ノーマルマット
アクアフオンマット

測定機器 生体信号処理装置 フットテクノ製 ALPHA MASTER

測定

健康な成年男子(49才)を被験者とし、長椅子に腰掛けた状態で10分間安静状態を保った後、ノーマルマットを10分間使用し、2分間の脳波の変化を測定した。さらに10分間休憩の後、同様にアクアフオンマットを10分間使用時の脳波の変化を測定した。国際脳波学会用語委員会により、定められた脳波の各周波数は次の如くである。

θ波：4Hz以上8Hz以下のもの
α波：8Hz以上で13Hz以下のもの
β波：13Hzより高いもの

結果

測定した脳波スペクトル変化を別グラフに示す。

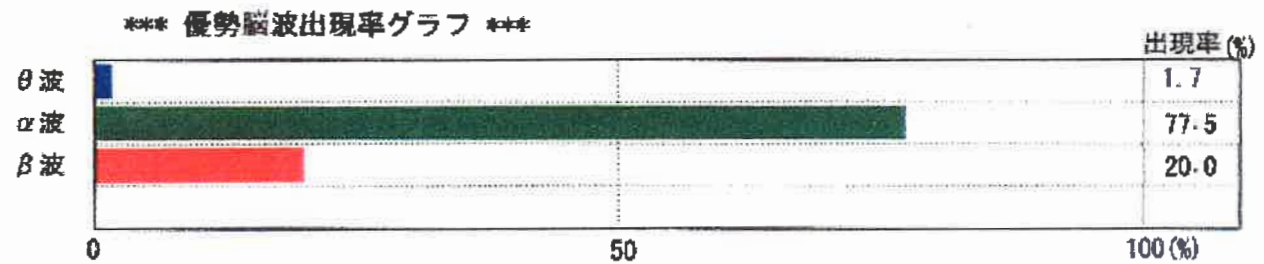
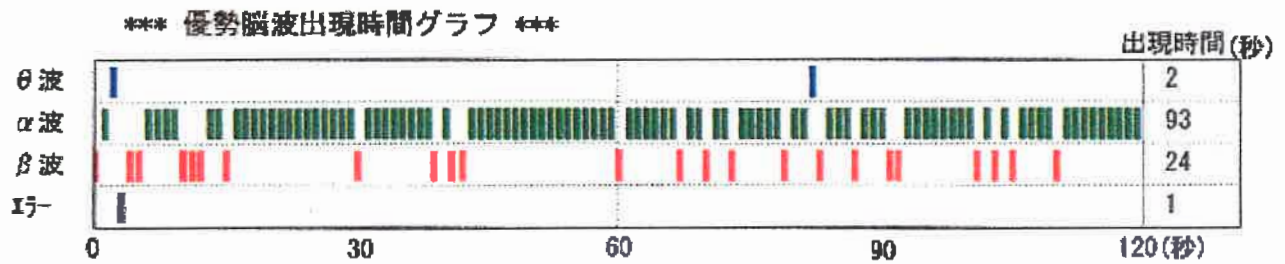
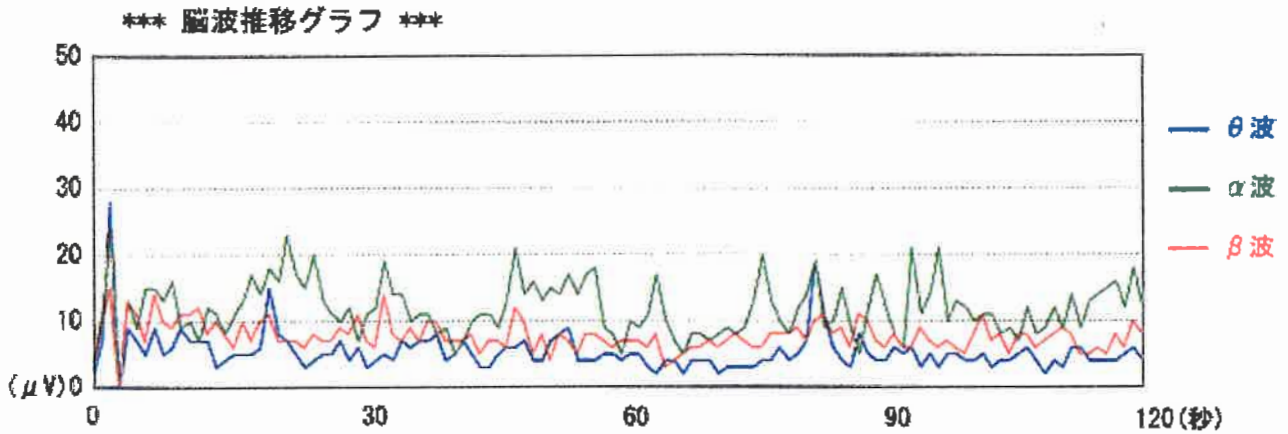
2試料時のα、β、θ波の出現の変化を見ると、ノーマルマット使用時はα波63.3%、β波35.8%、θ波0.8%である。アクアフオンマットの場合はα波77.5%、β波20.0%、θ波1.7%であった。従って、アクアフオンマット使用時の方がα波が14.2%増加している。アクアフオンマットを使用することでリラックス状態を示すα波が増加していることから、いやしの効果があるといえる。

以上

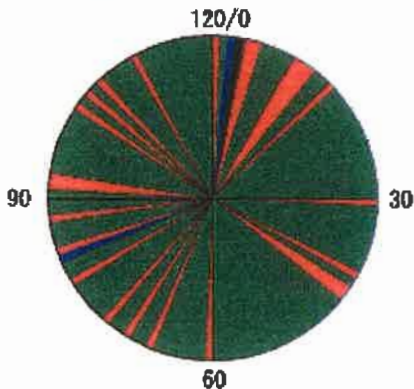
<脳波測定結果>

アクアフトンマット

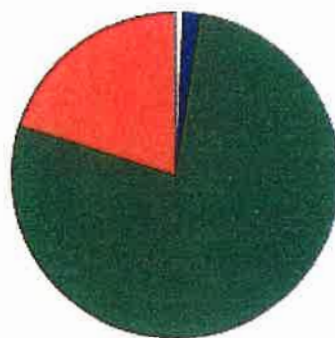
測定日:2004/04/22 測定時間:12:32:28



** 優勢脳波出現時間 **



** 優勢脳波出現率 **



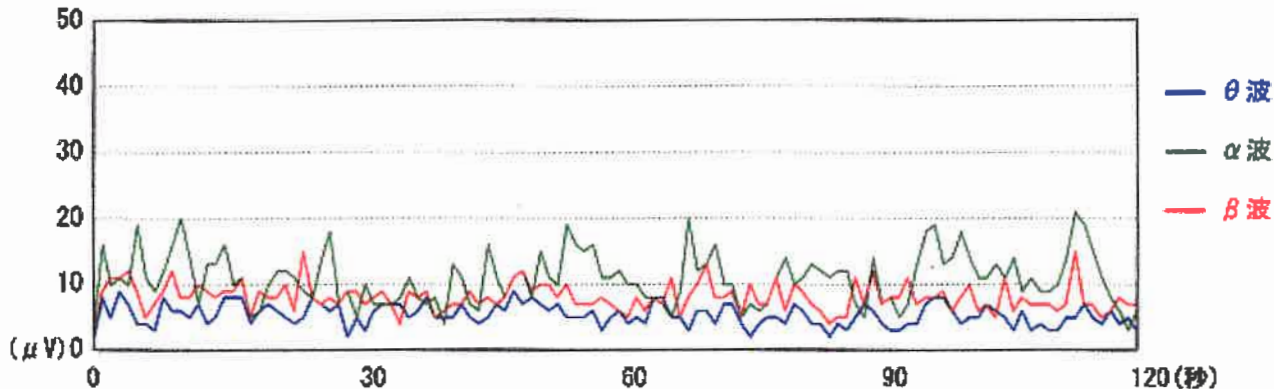
	出現率 %	MAX (μV)	平均 (μV)
θ波	1.7	28.0	5.4
α波	77.5	24.0	12.0
β波	20.0	15.0	7.8
エラー	0.8		

<脳波測定結果>

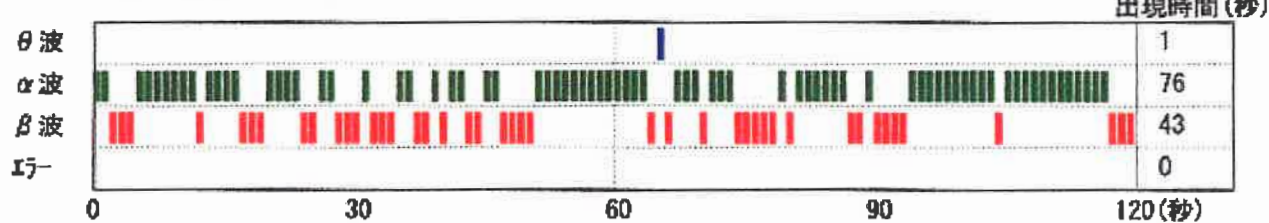
ノーマルマット

測定日:2004/04/22 測定時間:12:07:11

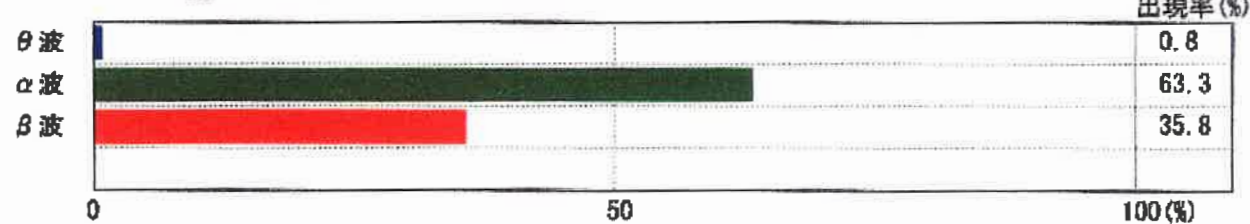
*** 脳波推移グラフ ***



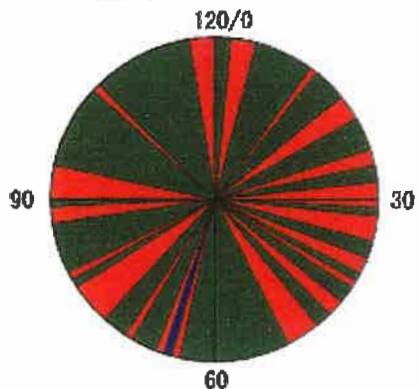
*** 優勢脳波出現時間グラフ ***



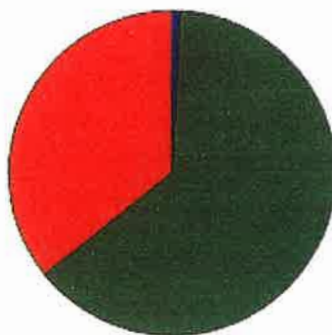
*** 優勢脳波出現率グラフ ***



** 優勢脳波出現時間 **



** 優勢脳波出現率 **



	出現率 %	MAX (μV)	平均 (μV)
θ波	0.8	9.0	5.4
α波	63.3	21.0	11.0
β波	35.8	15.0	8.1
イー	0.0		